

Mie Soto Young Priests' Association 青年会だより

第
31
号

発行所：三重県曹洞宗青年会
発行責任者：松田徹英 ☎ (059) 272-0155
三曹青公式サイト <http://www.sansousei.com/>

三重県曹洞宗青年会

検索



ご挨拶



三重県曹洞宗青年会
第二十四代会長
松田徹英

管内各御寺院老師様方には益々御健勝にて四衆御接化のこととお慶び申し上げます。

平素は三重県曹洞宗青年会にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。まず、始めに此度の大地震と大津波により犠牲となられた方々に、衷心より哀悼の誠を捧げますと共に、避難生活を余儀なくされている方々に対し、心からのお見舞いを申し上げます。また、復興に向けてご尽力戴いている皆様に深い敬意を表します。

昨年は3月11日に東日本大震災という史上稀にみる大災害に見舞われ、9月には二つの台風が上陸し紀伊半島に大きな被害をもたらし、人知を越えた自然災害の恐ろしさや怖さを改めて思い知らされる一年でありました。

青年会は震災発生後三重県各地で義援金の托鉢や勘募、被災地での傾聴活動や炊き出し、被災寺院墓地の瓦礫撤去等、現地の要望等に答えながら形や方法を変えてボランティアを行い

ました。三重県第一宗務所様、県内各団体様のご支援を頂きボランティアの期間は数回に分けたとはいえ現在までに日数にすると約30日間、参加した青年会員約50人という多くの青年僧が献身的に活動させて頂いた頂きました。また、9月には台風災害で被害を受けた熊野市や新宮市に清掃ボランティアに参加しました。

被災地での活動を通して一つの命の尊さと支え合う人の心とこれからを伝えなければならぬという責任と私達青年僧侶の何を必要とされ、何ができるのかを考えさせられるそんな年になりました。

今年の3月11日には松阪市の海禅寺様におきまして東日本大震災犠牲者一周忌追悼法要を開催致しますの一人でも多くの方にご参加頂き亡くなられた方々に思いを馳せ、哀悼の意を表するとともに、少しでもこのような災害の悲しみが癒され、一日も早く、被災地の復興が成し遂げられることを願いたいと思います。



また、青年会の活動は災害復興だけではなく法式研修（歎佛念）、静岡県駿河療養所での人権学習、みえ防災コーディネーターを招いての防災意識向上の為の勉強会、四日市中日文化センターにおいての坐禅入門講座の開講、杭州市日本人学校の生徒や先生との太鼓を通しての文化交流、紙芝居や落語を取り入れた第46回縁陰禅の集い、青年会活動の様子などを情報発信するIT事業の継続、県内各行事での参加協力と多くの事業に取り組むことができました。

これもひとえに管内御寺院様、諸先輩宗師の皆様のご支援とご指導、青年会会員宗師の多大なるご尽力のおかげでございます。厚く御礼申し上げます。

最後に皆様方のご法体堅固・福寿無量をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

東日本大震災・紀伊半島豪雨

災害復興支援活動レポート

昨年の大災害からもうすぐ一年が経とうとしています。三重県曹洞宗青年会では、震災以降、微力ながら復興支援活動に取り組んで参りました。その活動を通してレポートをさせていただきます。

復興支援の活動を通して

「今、私達に出来ること」として、前回の宗務所報で報告させて頂きましたように、三重県曹洞宗青年会では災害発生を受け、「任にあたって、他に譲りがたし」のごとく、月1回2回の割合でボランティア活動をしてまいりました。毎回現地の方の情報を踏まえ、私達に何が出来るかを考え、被災地での傾聴活動・墓地清掃作業・避難所並びに仮設住宅での炊き出しを行いました。

その活動での事です、おじいさんがベンチに座って一枚の写真をじっと眺めて



いました。ちょうど炊き出しの準備が落ち着いたので、おじいさんの横に座って「おじいさんさむいですねえ。」と声をかけました。おじいさんは、しばらく黙って写真を見つめてました。

すると、「何にもなくなった。一人になっちゃった。だけど、誰かさんが、この写真を見つけてくれた。いろいろと思い出していたんだよ。」と、私は、「そうですか。」しばらく二人は無言でした。何も言葉が出てきませんでした。こんな時こそ・・・と胸がギュツとなりました。おじいさんが「今日は、うどんかき？」「そうです。三重県の松阪牛の肉うどんです。おじい

さんたくさんたべてってな。」と返ししました。その後、うどんを召し上がって頂き、帰り際に「ありがとう。おいしかったわ。」と言葉をかけて頂きました。私は、うれしくて、うれしくてたまりませんでした。同時に、勇気づけられました。



仮設住宅での炊き出しの様子

ていかねばなりません。復興支援活動を通して「菩薩行」を実践してゆきたいと思えます。

ありがとうございました

この度の活動を実行するにあたり、曹洞宗三重県第一宗務所様の温かいご理解とご協力を頂き、県内各地より頂きました義捐金の一部を活動資金として頂戴しました。さらに、岩手県青年会・宮城青年会・福島青年会への義捐金を支援頂きました。又、祖門会・有道会様、總和



伊賀市での義捐金托鉢風景

会・嶽山会様その他の有縁の数多の方々のご理解とご協力、温かいご援助のお陰で無事活動させて頂きました。この紙面を借りまして、厚く御礼申し上げます。

これからも様々なニーズに応え、会員一同知恵を絞って頑張りたいと思います。また、青年会宗師の仏心両面によるご理解とご負担を頂き、誠にありがとうございました。今後も青年会活動に対し、ご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い致します。

災害復興支援活動実績

3月27日 4月1日	管内各団体有志による炊き出し (宮城県 東松島市・石巻市 8名参加)
4月4日 4月5日	視察・傾聴活動 (岩手県・福島県 2名参加)
4月25日 4月28日	傾聴活動・清掃活動 (宮城県 亘理町 5名参加)
5月9日 5月12日	清掃活動 (宮城県 亘理町 5名参加)
5月16日 5月19日	炊き出し (宮城県 石巻市・女川町 11名参加)
6月7日 6月8日	炊き出し (宮城県 女川町 3名参加)
9月6日 9月7日	清掃活動 (三重県 紀宝町 7名参加)
9月28日 9月29日	清掃活動 (三重県 熊野市 6名参加)
10月3日 10月6日	炊き出し (宮城県 石巻市・女川町 4名参加)
10月17日 10月19日	清掃活動 (三重県 新宮市 6名参加)
11月14日 11月17日	炊き出し (宮城県 桃生町・東松島市 11名参加)

東日本大震災ボランティア

活動総日数 31日間
活動延人数 49名

紀伊半島豪雨災害ボランティア

活動総日数 7日間
活動延人数 18名

活動の詳細は三重県曹洞宗青年会のホームページを御覧ください <http://sansousei.com/>

【鼓司と行くシリーズ第二弾】

中国杭州「浄慈寺」拜登と
宏村・烏鎮水郷の旅

世界遺産

昨年の9月の26日～29日まで鼓司メンバー8人と服部先生、ツアー参加者22人の総勢31人で行って参りました。

今回鼓司が杭州に向かう目的は二つありました。一つは前述の通りレジャー博覧会での演奏。そしてもう一つは杭州にある日本人学校への太鼓の奉納と服部先生による太鼓のワークショップ。去年3月に天童山で演奏するために購入した8張の太鼓は天童山に預けており眠っているだけでした。そこで今回その太鼓を日本人学校に奉納させていただこうではないかと言う話になりました。

上海から杭州まではバスで3時間ほど。杭州市内に入って程なく日本人学



校はあります。会場となる体育館に入ると学校の生徒さん達、小学一年生から中学三年生までの9学年45人と先生方が集

まってきました。

皆でウォーミングアップのジャンプと準備体操をしていざ太鼓へ。服部先生の取るリズムにみんな一生懸命合わせようと頑張りますが、初めての経験でなかなかみんな合わせる事ができません。

課題は少しずつ難しくなっています。16回叩いたところで止める。カウントをしながらかくなくはならないため、叩く方ばかりが行ってしまうとピタッと止まれません。初めて撥を持ち太鼓を叩く、小さな子にとってはとても難しいことだったと思います。

みんなでワイワイと楽しいワークショップも終わり、次は私たちのパフォーマンスです。～悟りの岸へ～のメインを3分程演奏しました。メンバーも和太鼓の素晴らしさをわずか3分で伝えなくてはならないため全力で叩きました。演奏が終わると子供たちから私たちの気持ちに込めるかのような精一杯の拍手を頂きました。

さて翌日はいよいよレジャー博覧会での演奏です。当初の予定では浄慈寺にて演奏させていただく予定でしたが、諸事情により浄慈寺での演奏ができなくなりました。しかしその代わりにレジャー博覧会と言うイベントの1ステージで演奏することとなりました。

会場は湖畔にあり、湖の上にレジャー博覧会用の特設ステージが設けられていました。バックには大きな液晶



モニターも設置されており、とても綺麗で立派なステージでした。

演奏の一曲目は「正法への錫杖」、二曲目は「悟りの

岸へ」です。今回も色々と変更があり、毎回とても緊張しての演奏になります。しかし不安を無くすまでメンバー全員しっかりと練習してきたので本番もののびのびと、そして気迫あふれる演奏になりました。

今回のこの企画を通して、鼓司と言う太鼓チームのあり方がわかったような気がします。あちらこちらに向いて太鼓の演奏を聴いてもらうのはもちろん、今回のようにボランティアで学校等に足を運び、子供たちに太鼓を教え、演奏を聴いてもらう。太鼓と同時ににお坊さんにも少し興味を持ってもらえるのならこれこそが布教なのではないかと。またこのような機会を見つけて鼓司とまだ見ぬ人たちの出会いを少しずつ叶えて行けたなと思います。

三重県曹洞宗青年会 鼓司副代表

浦野将志

NEW
新しい青年会員
FACE

今年度7名の方々が青年会に入会致しましたのでご紹介いたします。



22教区 禅龍寺
青木 一矢



9教区 浄眼寺
永谷 達哉



11教区 宝積寺
山崎 正順



24教区 林昌寺
井尻 督大



27教区 宝珠院
中村 広隆



9教区 最勝寺
加藤 明德



22教区 龍祥寺
小倉 寛史

これから先の青年会を担ってまいります。ご指導の程宜しくお願い致します。

和担当よりのご案内

緑蔭禅担当 西脇 章弘

平素は緑蔭禅の集いに對しましてご加担、ご協力を賜り深く御礼申し上げます。昨年度の第四十六回緑蔭禅の集い実施にあたりましては、参禅者の勧募など皆様方の多大なるご協力により、平日にもかかわらず四十七名の参加者を得、無事円成することができました。本年度も七月末ごろの開催を予定しております。一人でも多くの方に興味を持っていただき、ご参加を頂けるような内容にできるよう精進いたしますので皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

伝道車担当 藤原 伸彦

平成二十二年より使用しております六代目となる現在の伝道車ですが、昨年は東日本大震災並びに9月7日に紀州地方を襲った台風十二号の災害支援で計八回ものボランティア活動に活躍してくれました。また本年も布教活動、災害支援は勿論のことですが、管内寺院さまのご利用も受け付けておりますのでお気軽にご利用下さいます。

月例担当 武内 亮道

三仏忌等の法式研修と青年会たよりを担当させて頂き、二年目に入りました。一年目は、各地のボランティア活動が主となり、日頃得られない利他行の年でした。今年度は、ボランティア活動も継続しつつ、会員相互の為になる研修をしたいと思っております。併せて、見聞樂を今年も開催する予定です。会場の提供等のご協力をよろしくお願い致します。

全曹青担当 廣 晃志

全曹青係を担当させて頂き、はや一年が過ぎました。昨年は、東日本大震災があり、全曹青の活動として、災害復興支援部が立ち上がり、物資支援・一般ボランティア活動・寺院復旧活動・読経供養・行茶（傾聴ボランティア）活動・原発事故による避難者へのサマーキャンプ開催等、様々な活動が行われました。今後も復興を祈念し、活動に参加したいと思えます。全曹青の活動にご理解とご協力をお願いします。

東海曹青担当 世古 裕規

月日がたつのも早いもので、東海曹青係りを務めさせて頂いた、一年が過ぎました。

昨年度は、十一月に予定されておりました愛知県第三宗務所青年会主催の東海管区大会は東日本大震災の未曾有の被災状況を受け、早々に中止の決定がなされました。それに伴い、犠牲者の方々のご冥福を祈ると共に、被災地の日も早い復興を願って「東日本大震災被災物故者追悼法要」が平成二十四年二月二十七日に名古屋別院に於いて厳修される事になりました。

また、平成二十四年十月には、東海管区曹洞宗青年会大会が静岡第一宗務所青年会主導のもと例年通り開催されます。ご参加・ご協力の程、宜しくお願い致します。

鼓司担当 藤原 伸彦

平素は三重県曹洞宗青年会 和太鼓僧伽「鼓司くすくす」の活動に御支援いただき誠に有難うございます。昨年は中国杭州浄慈寺拝登旅行に行きレジャー博覧会の会場にて演奏させて頂きました。その他、八回の公演をさせて頂く機会に恵まれて大変嬉しく思っています。

本年は、三月十一日（日）松阪市海禅寺様にてチャリティー音楽イベントを開催いたします。是非見に来て下さい。また「鼓司」へのお問い合わせは、お近くの青年会会員に声を掛けて下さい。担当者より折り返し連絡させていただきます。どうぞお気軽にご用命ください。

ＩＴ事業担当 日山 賢吾

昨年は未曾有の大災害によって、青年会の活動もそのほとんどがボランティア活動に終始致しました。それに伴い、ＩＴ事業部もホームページ上や宗務所行事の会場等で現地での活動報告をさせて頂きました。ボランティア活動と併せて、活動報告の仕方等に関しても、青年会広報として様々なことを考えさせられました。



今後も青年会員の活動を、迅速かつ正確にみなさまに報告させて頂きたいと思えます。

会費納入のお願い

平素は青年会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

青年会の各活動は、みなさまの会費によって成り立っております。会費の納入がお済みでない方は、お近くの青年会会員または、会計朝日雄道までお問い合わせください。

■正会員 一〇、〇〇〇円
■賛助会員 五、〇〇〇円

何卒ご理解いただきますよう
よろしく願います。

事務局便り

今年度も定例総会で承認を頂いた事業、その他臨時法等に一同全力をもって精進努力してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

◆青年会活動の幅を広げるために少人数での坐禅会をお手伝いさせて頂きます。対象も子供から大人までなたでも結構です。内容としては二時間ほどの坐禅会になります。坐禅と坐禅指導、その他にも映画等、会場主の御寺院様に合わせます。坐禅会を開催するときはお気軽に本部事務局からお近くの青年会員にお声を掛けてください。

◆和太鼓チーム「鼓司」が県内を始め全国で活躍し好評をいただいております。県内御寺院様に於かれましては、晋山結制など諸行事で「太鼓の演奏を」とお考えの方は、お声を掛けて頂ければ、ご相談の上、演奏に伺いますので、よろしく願います。

◆昨年度は東日本大震災が起こりました。そこで青年会として何かできないかと考え一年の日にあたる三月十一日に追悼法要を行います。興味のある方は、本部事務局からお近くの青年会員にお声を掛けてください。

近年、青年僧侶が続々と青年会に参加していただいておりますが、まだ参加していただけない各御寺院様の御弟子様、お知り合いの若い方にも一声かけて頂き、是非とも入会していただきますようお願い申し上げます。青年会活動が活発になることにより、今後の県内寺院の交流と親睦、また自己の研鑽がますます進んでいくものと確信しております。

事務局一同 合掌